

令和2年度の くらしのサポーター養成事業 について

函館市保健福祉部
地域包括ケア推進課

趣旨

地域における住民主体の助け合い活動の中心となる**キーパーソン**および**担い手**として、
くらしのサポーターを養成するとともに、
地域の活動の場へつなげることで、
高齢者の社会参加につながる**居場所づくり**など、
住民主体の**助け合い活動の創出・充実**を図ることを目的とする。

事業概要

(くらしのサポーターの養成)

(1) 養成研修 (1クール全5回・40人程度養成)

地域における住民主体の助け合い活動の入門的な研修

(2) ステップアップ研修 (1クール全6回・30人程度養成)

自ら地域で助け合い活動が実践できるリーダーの養成および共に地域で活動する仲間(グループ)づくりの場として、養成研修修了者を対象とした研修

(3) くらしのサポーターの登録者が円滑に地域活動に取り組むことができるよう、住民主体の活動とのマッチングや第2層生活支援コーディネーターとのマッチングを行う

(1) 養成研修について

①研修日程

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和2年8月21日(金)～9月8日(火) 13:30～(全5回) |
| 会場 | 函館アリーナ 他 |
| 対象 | ①市内在住で、ボランティアに興味・関心のある方 ②原則として、全カリキュラムが受講可能な方 |
| 定員 | 40人程度 ※申込順・無料 |
| 申込者 | (8月11日時点) 41人(補講者1人) |

②周知方法

周知方法 7月より周知

- ・ 新聞記事掲載 (函館新聞, 北海道新聞 (本誌お知らせ, みなみ風), 日刊政経)
- ・ 研修案内郵送 829部
市内全町会, 市内全在宅福祉委員会,
函館市ボランティアセンター登録団体および個人登録者 等
- ・ 研修チラシ設置 560部
市役所・各支所, 図書館, 地域包括支援センター 等
- ・ 研修チラシ配布依頼
函館市内高齢者大学 (亀田校150枚, 青柳校150枚, 大門校150枚)
- ・ NHKラジオ第1
- ・ NHK TV ほっとニュース北海道道南版
- ・ HBCおよびFMいるかラジオ「市からのお知らせ」
- ・ 市政はこだて8月号掲載

③カリキュラム

| | | | |
|-----|------------------|---|-----------------------|
| 第1回 | 8月21日(金) | 研修のねらいについて (10分) | 事務局 |
| | | 介護保険制度と高齢者福祉について (30分) | 函館市保健福祉部 地域包括ケア推進課 |
| | | くらしのサポーターの役割について (110分) | 函館市生活支援コーディネーター |
| 第2回 | 8月25日(火) | ボランティアの基礎について (60分) | 函館市ボランティア連絡協議会 |
| | | サロン等の実践について (20分) | サロン等実践者 |
| | | 認知症サポーターについて (70分) | 函館市地域包括支援センター連絡協議会 |
| 第3回 | 9月3日(木) 5日(土) | サロン等見学 | 市内各サロン等 |
| 第4回 | 9月7日(月) | サロン等見学振り返り (90分) | 函館市生活支援コーディネーター |
| | | 社会資源の活用について (60分) | 函館市地域包括支援センター連絡協議会 |
| 第5回 | 9月8日(火) | 研修のまとめ (120分) | 函館市生活支援コーディネーター |
| | | 事務局説明・修了式 ・今後の登録等について ・ボランティアポイント事業についての説明 (20分) | 事務局 |

(2) ステップアップ研修について

①予定

日 時 令和2年11月～12月頃

13:30～(全6回)

対 象 くらしのサポーター養成研修修了者

30人程度

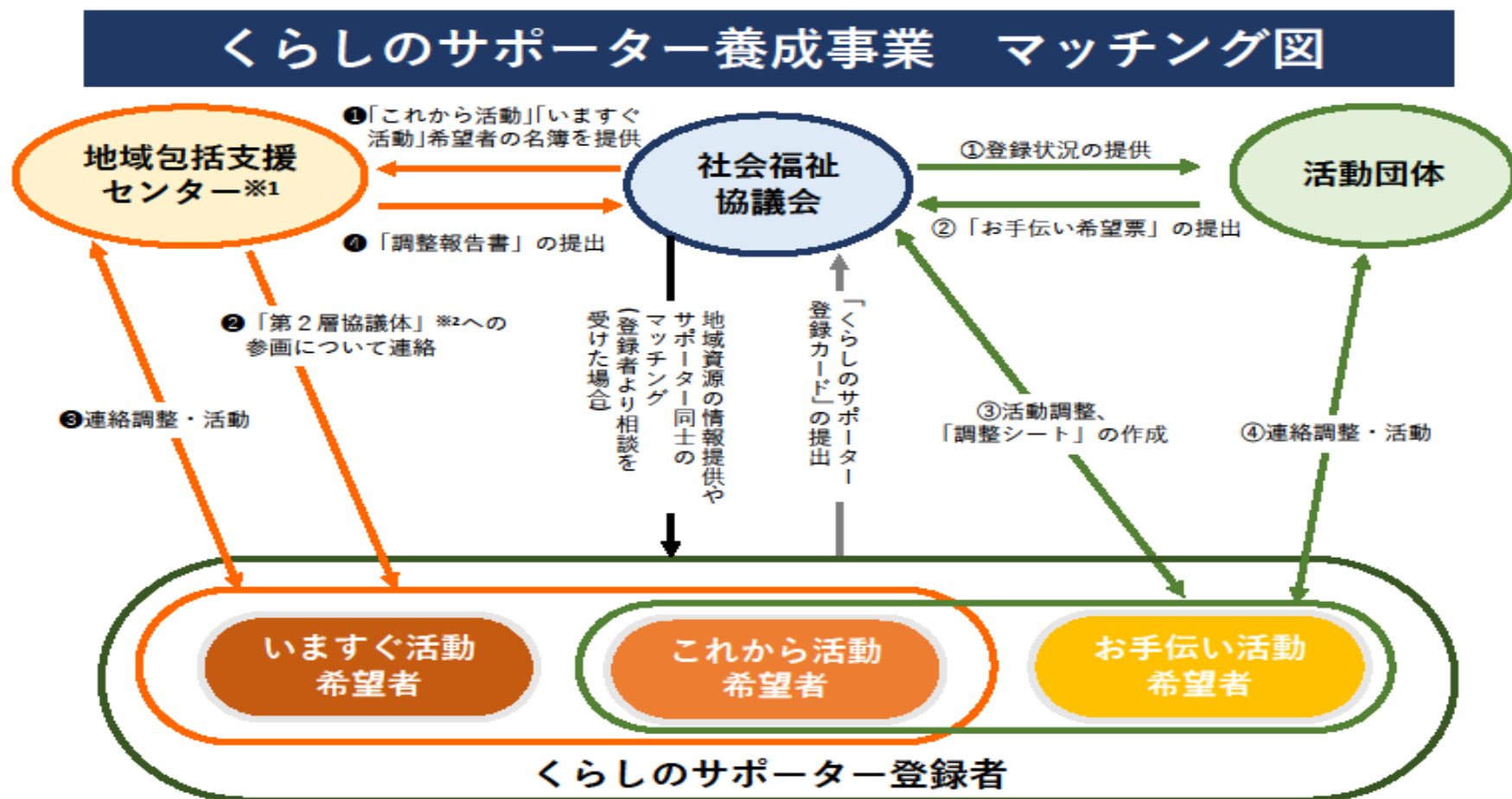
※令和元年度は令和2年3月3日～3月24日の日程で開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止

②カリキュラム（案）

| | 内 容 | |
|-------|---------------------------------|--|
| 第 1 回 | オリエンテーション | 研修の趣旨について説明。 |
| | 住民主体の助け合い活動の基本理解について (30分) | 函館市の現状，助け合い活動の重要性について改めて学ぶ。 |
| | 自分が住みたい地域像（目指す地域像）について (60分) | 自分が住みたい地域，その中で自分は何が出来るかについて考える。 |
| 第 2 回 | 居場所づくりの基本理解 (30分) | 居場所を立ち上げ，継続していくためのポイントについて事例をもとに学ぶ。 |
| | サロン実践者発表 (90分) | 複数のサロン運営者よりお話しをいただく。 |
| 第 3 回 | 地域ケア会議を体験 (90分) | 地域包括支援センターが開催する地域ケア会議への参加，もしくは模擬地域ケア会議を体験する。 |
| 第 4 回 | サロンづくりの情報提供 (30分) | 社協事業等（在宅，菜園等）を紹介し，サロン運営の情報提供を行う。 |
| | 居場所づくりのシミュレーション (90分) | 居場所づくりについて，具体的に考える。 |
| 第 5 回 | 地域ケア会議の振り返りおよび共有について (90分) | 地域ケア会議を通じて，改めて地域について何が必要かを考える。 |
| 第 6 回 | まとめ (60分) | 講義・見学の内容をもとに，これからの活動について考える。 |
| | 交流会 (60分) | 参加者同士でつながる場を設ける。 |

(3) マッチングについて

① マッチング (図)



※1) 地域包括支援センター：市が委託をし、市内に10か所ある。介護や福祉に関する相談を受けたり、地域づくりを行っている。
 ※2) 第2層協議体：地域包括支援センターが主催。地域住民が集まり、地域づくりを考えるための会議。（地域ケア会議ともいう。）

②くらしのサポーター登録者数 (令和元年度)

○登録者数 53人

(人)

| | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 男女別合計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 男 | | | 2 | 9 | 1 | 12 |
| 女 | | 3 | 19 | 17 | 2 | 41 |
| 年代別合計 | 0 | 3 | 21 | 26 | 3 | 53 |

- ・ 令和元年10月24日(木)・25日(金)新規登録制度説明会
- ・ 令和元年11月新規登録制度による(名簿)登録リスト整理

③くらしのサポーター—登録者 活動希望内訳

| 活動 | 登録者数 (重複あり) | 活動例 |
|---|----------------|---|
| <p>① お手伝い活動 既にある住民主体の活動をサポートする</p> | <p>40人</p> | <p>既にある住民主体の活動をしている団体（サークルやサロン、居場所、町会活動など）へ、継続的な運営の補助や単発的な行事の手伝いなど、サポートを行う。</p> |
| <p>② これから活動 これから地域で活動する場を自ら見出し創出する</p> | <p>29人</p> | <p>第2層協議体へ参画し、住民主体の活動を共に協議するとともに、自らの具体的な活動に発展させる。</p> |
| <p>③ いますぐ活動 自ら地域で活動する場を創出する</p> | <p>8人</p> | <p>居場所やサロン、地域食堂などの住民主体の助け合い活動を創出する。</p> |

④地域包括支援センターへの 名簿の提供実績（令和元年度）

○地域包括支援センターへ情報提供をした「これから活動」
「いまずぐ活動」希望者の人数 33人

圏域別人数（重複あり）

| | | | |
|--------------|-----|------------|-----|
| ・西部（あさひ） | 8人 | ・北東部第1（西堀） | 12人 |
| ・中央部第1（こん中央） | 13人 | ・北東部第2（亀田） | 6人 |
| ・中央部第2（ときとう） | 14人 | ・北東部第3（神山） | 13人 |
| ・東央部第1（ゆのかわ） | 11人 | ・北部（よろこび） | 5人 |
| ・東央部第2（たかおか） | 8人 | ・東部（社協） | 3人 |

○地域包括支援センターが開催する「第2層協議体（地域ケア会議）」
への参加人数

- ・地域包括支援センターゆのかわ 2名（令和2年2月10日開催）
- ・地域包括支援センターよろこび 1名（令和2年2月16日開催）

⑤活動団体とのマッチング実績 (令和元年度)

○住民主体の活動とのマッチング

- ・ 町会や老人クラブへ説明予定だったが、日程が合わないことと、新型コロナウイルスの影響で実施に至っていない

(令和2年3月27日に、町会連合会と函館市老人クラブ連合会事務局へは、くらしのサポーターの活動について、今後、令和2年度に向けて取組を実施していきたい旨を説明した。具体的な内容については、令和2年度にあらためて協議することとしている。)

○その他 社会福祉協議会の事業とのマッチング

- ・ 修了者のうち、ボランティアセンター相談員として5名が活動
- ・ 地域づくり活動支援事業「榎法華いきいき世代間交流サロン」(居場所づくり)として6名が活動 (令和2年1月14日開催)

⑥令和元年度第2回函館市地域支え合い 推進協議体会議ご意見まとめ

くらしのサポーターが地域で活動をするために、どのようなところ（活動団体等）にどのようにアプローチをしたら良いでしょうか。

- ・ 町会連合会 ・ 老人クラブ
- ・ ボランティア連絡協議会に加盟している約70団体
- ・ 現在社協で把握しているボランティア団体の中で、人手が足りない団体
- ・ 地域食堂等隠れた地域資源
- ・ ボランティア団体に加入せず活動している方々を吸い上げるため、くらしのサポーターの取組内容について、地域資源の実施主体にPRすることが必要（目に触れる機会が多い新聞等が有効）

⑦活動団体とのマッチング (令和2年度計画)

○住民主体の活動とのマッチング

①既存団体への意向調査（7月30日実施）

- ・ N P O 法人ナルク函館
- ・ 地域支援グループづくりの木
- ・ 函館の地域福祉を考える会
- ・ 函館認知症の人を支える会
- ・ 地域支援ユニバーサルコミュニケーション
- ・ カフェくあふおり
- ・ 石川町会, 在宅福祉委員会
- ・ 函館女性センター
- ・ 元気もりもり食堂
- ・ 昭和子ども食堂

②老人クラブ方面協議会での事業説明の実施予定

8月 7日（金）北部方面地区協議会総会

8月 11日（火）中部方面地区協議会総会

8月 23日（日）西部方面地区協議会総会

③町会

町会連合会へ説明へ行くため、日程調整中